

今夏の節電のお願い(製造業の皆様)

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。事業者の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただきとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

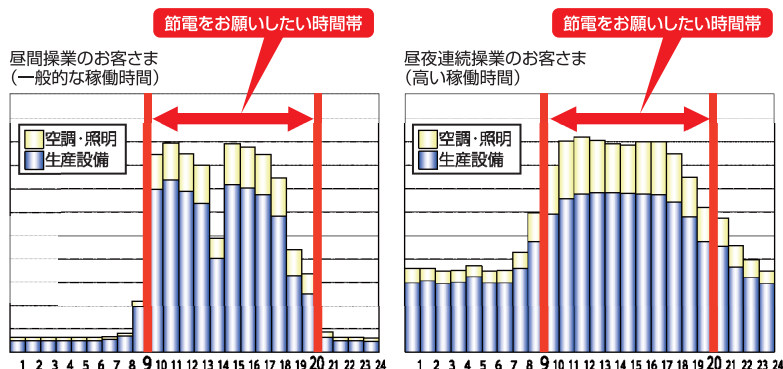
また、節電の取組みに当たっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

今夏の節電目標等

- ・目標：平成22年度夏季使用最大電力を基準に15%以上の節電
- ・期間：7月2日(月)から9月7日(金)までの平日(8月13日～15日を除く)
- ・時間：9時から20時まで
- ・加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝(7時～9時)や夜(20時～25時)に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

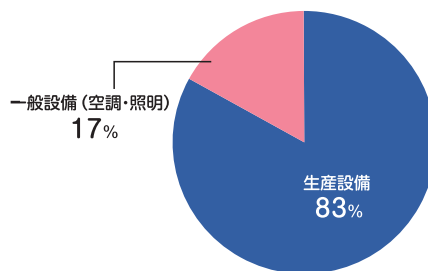
電力消費の特徴

【1日の電気の使われ方<夏期のピーク日>】



【電力消費の内訳<夏期のピーク時断面(例)>】

生産工程や納期、必要な生産環境(空調)に応じて電力消費形態が異なります。



出典：資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、一般設備および生産設備を含めた電力使用の工夫をご検討願います

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

照明 (非常用除く)	使用していないエリアの消灯を徹底 ●業務上等に支障のない範囲で照明を間引き願います
空調	室内温度を28℃に設定
	空調機のメンテナンスや設定変更
その他	デマンド監視装置を活用し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施
	自家発電設備(常用)の活用
生産設備	不要または待機状態にある電気設備の電源OFFを徹底する
	電気炉、電気加熱装置の断熱を強化する
ユーティリティ 設備	高効率蛍光灯やLED照明への交換
	使用側の圧力を見直すことによりコンプレッサの供給圧力を低減する
	コンプレッサの吸気温度を低減する
	負荷に応じてコンプレッサ・ポンプ・ファンの台数制御を行う
	インバータ機能を持つポンプ・ファンの運転方法見直す

出典：経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

電力不足がいよいよ深刻になった場合は・・・

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。

停電が起こらないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、照明の一斉消灯、エアコン、パソコン、コピー機の一時停止など、一層の対応をお願いします。

関西電力(株)では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、需給調整にかかる料金メニューなどに関する情報を、ホームページに掲載しています。
関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>